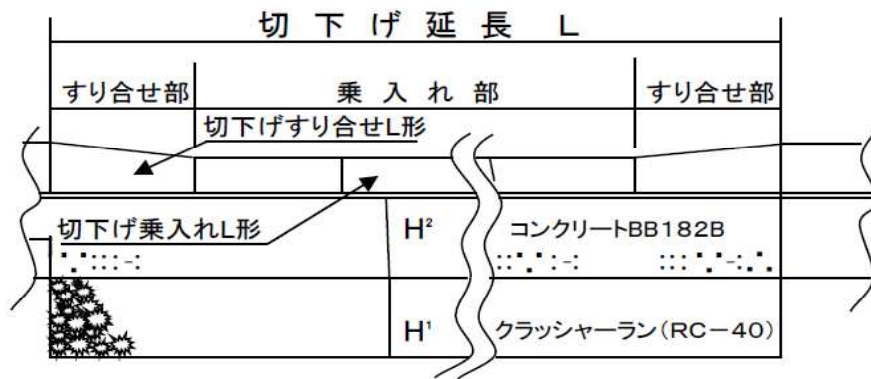
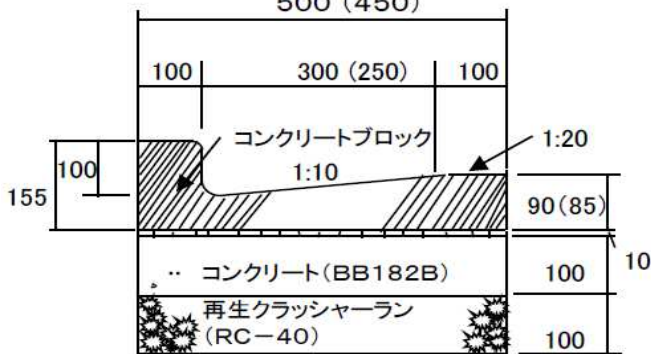


L 形 側 溝

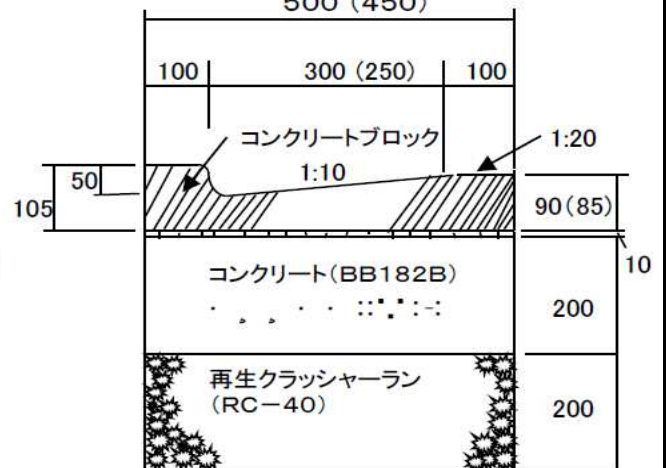


(柱)各ブロックの間には目地モルタルを施すこと。

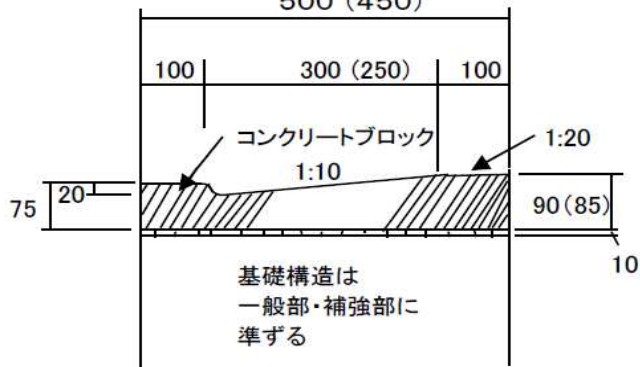
300 B ()内は250B
(一般部)
500 (450)



300 E ()内は250E
(補強部)
500 (450)



300 用 ()内は250用
(横断部(バリアフリー対応))
500 (450)



取扱い業者
柴田コンクリート(株)
墨田区八広3-34-13
TEL 03-3616-5001

アスファルトコンクリート舗装(車道)

アスファルトコンクリート舗装(60型)
車道 【単位cm】

60	5	再生密粒度アスファルト混合物
	20	再生粗粒度アスファルト混合物
	15	再生粒度調整碎石(RM-40)
	20	再生クラッシャラン碎石(RC-40)

アスファルトコンクリート舗装(55型)
車道 【単位cm】

55	5	再生密粒度アスファルト混合物
	10	再生粗粒度アスファルト混合物
	10	再生粒度調整碎石(RM-40)
	30	再生クラッシャラン碎石(RC-40)

アスファルトコンクリート舗装(45型)
【単位cm】

45	5	再生密粒度アスファルト混合物
	10	再生粗粒度アスファルト混合物
	15	再生粒度調整碎石(RM-40)
	15	再生クラッシャラン碎石(RC-40)

アスファルトコンクリート舗装(35型)
【単位cm】

35	5	再生密粒度アスファルト混合物
	5	再生粗粒度アスファルト混合物
	10	再生粒度調整碎石(RM-40)
	15	再生クラッシャラン碎石(RC-40)

アスファルトコンクリート舗装(25型)
【単位cm】

25	5	再生密粒度アスファルト混合物
	5	再生粗粒度アスファルト混合物
	15	再生粒度調整碎石(RM-40)

名 称	使用材料名 (原則として再生材を使用する。)	区車道舗装種別(型)									注意事項
		舗装版のみ打替え (*2)				標準構造					
		5	10	15	25	25	35	45	55	60	
表 層 工	再生密粒度アスファルト混合物 (*1)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	↓ タックコート工
基 層 工	再生粗粒度アスファルト混合物	-	5	10	20	5	5	10	10	20	↓ ブライムコート工
上層路盤工	再生粒度調整砕石 (RM-40)	-	-	-	-	15	10	15	10	15	1層仕上げ厚: 15cm以下
下層路盤工	再生クラッシャラン (RC-40)	-	-	-	-	-	15	15	30	20	1層仕上げ厚: 20cm以下
舗装合計厚 (cm)		5	10	15	25	25	35	45	55	60	

■ブライムコート工: アスファルト乳剤(PK-3) 1.2L/m²を標準とする。

■タックコート工: アスファルト乳剤(PK-4) 0.3~0.6L/m²を標準とする。

・交通開放する場合

切削打替、オーバーレイなどで切削面や既設路面上に舗設する場合: 0.6L/m²を標準とする。

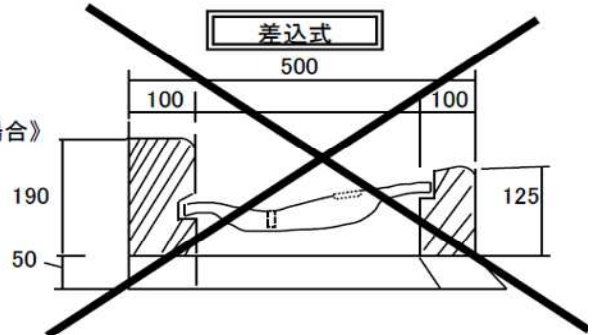
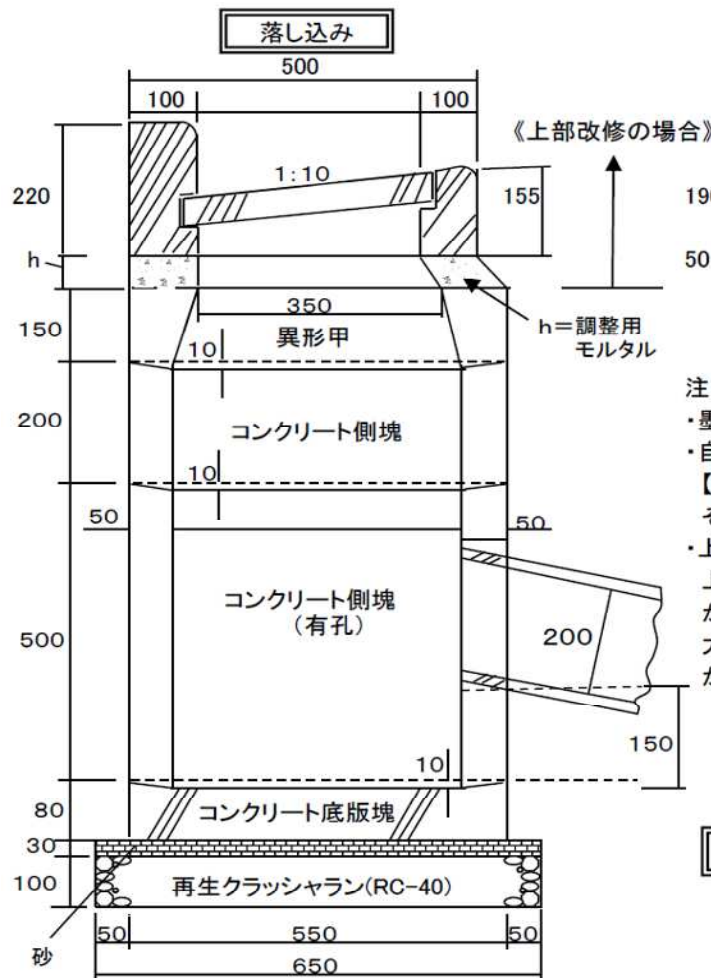
・汚さず数日後に表層を舗設する場合: 0.3L/m²を標準とする。

・アスファルト層を同日に連続舗設する場合: 乳剤散布無し

(*1) 耐流動性が求められる箇所については、改質アスファルトを使用することができる。

(*2) 不陸整正は、補足材の有無にかかわらず路盤の敷き均し転圧を行うこと。

L 形 用 集 水 枥



注 意 !

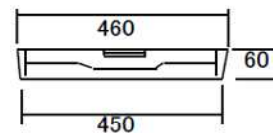
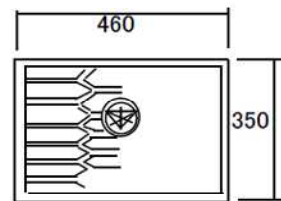
- ・墨田区では現在【差込式】は使用していません。
- ・自費工事で上部改修及び枥移設を行う場合は、【落とし込み】に変更してください。
その際は蓋の再利用はできません。
- ・上部改修を行う場合、調整モルタルにより上部改修を基本とするが、設置高さの調整高さが取れない場合、また上部縁塊と側塊のズレが大きい場合は、それぞれ、側塊または底版塊から直すこと。

☆ 蓋は特殊なため再利用して下さい。

グレーチング(落とし込み)



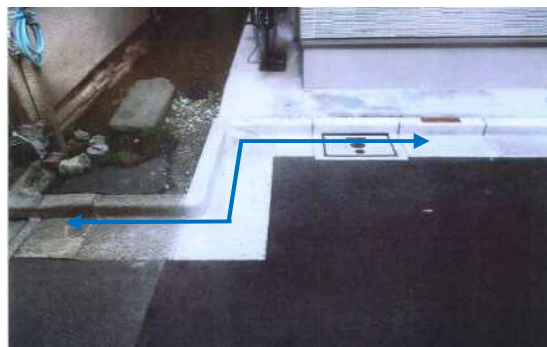
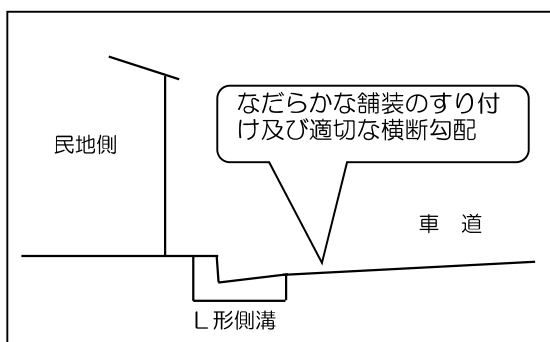
コンクリート(落とし込み)
(350×460×60mm)



施工する際の注意点

1 良い施工例

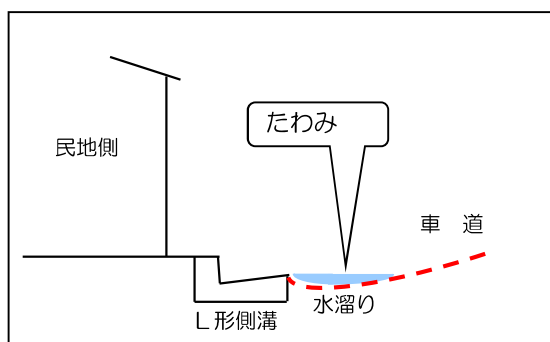
なだらかな舗装のすり付け及び適切な横断勾配



2 悪い施工例

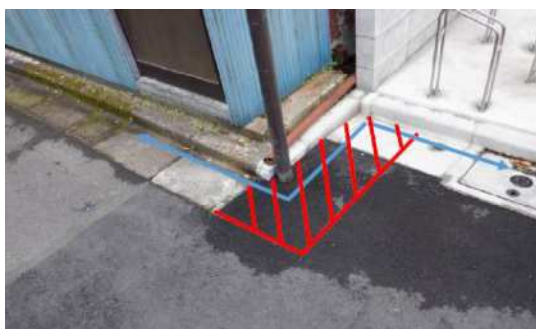
(1) 水溜まりの発生原因 ①

L形側溝の施工計画高さの不良及び横断勾配の不良による舗装面のたわみ



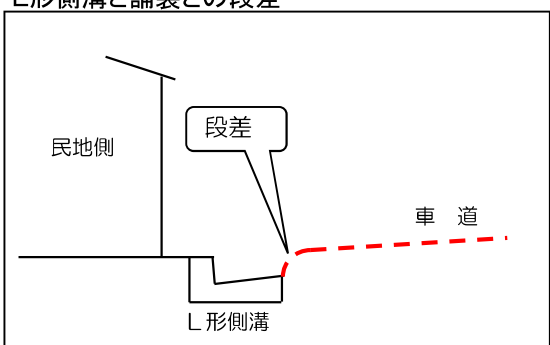
(2) 水溜まりの発生原因②

隣接既存L形側溝と新たに整備したL形側溝と境の箇所の水の流れ部の施工不良



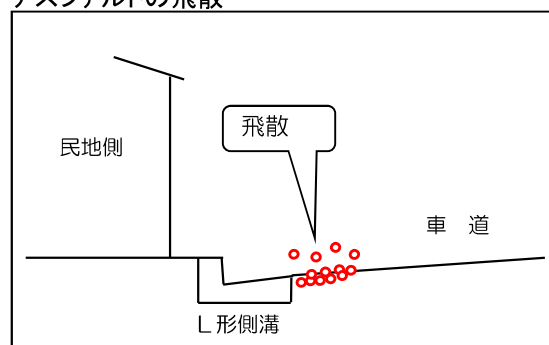
(2) けつまずきの発生原因

アスファルトの盛り過ぎ及び転圧不良等によるL形側溝と舗装との段差



(3) アスファルト飛散の発生原因

温度管理の不備及び不適切な粒度によるアスファルトの飛散



(4) L形側溝上(道路区域内)への民プレート等の設置

